

令和4年度に 実施した主な事業

項目	主な事業名	金額
総務費	ふるさと納税推進事業	3億8,723万円
	市民バス運行管理事業	8,021万円
	定住促進事業	3,343万円
民生費	障害者総合支援事業	7億6,759万円
	価格高騰緊急支援給付金給付事業	2億 382万円
	子ども・心身障害者医療費助成事業	1億4,317万円
	臨時特別給付金給付事業	1億 277万円
	子育て世帯生活支援特別給付金給付事業	5,013万円
衛生費	白石市外二町組合補助金等	16億8,030万円
	新型コロナウイルスワクチン接種事業	4億7,137万円
	災害廃棄物処理事業	2億7,851万円
水産林業費	有害鳥獣対策事業	2,162万円
	畜産事業者支援事業	1,766万円

項目	主な事業名	金額
商工費	商品券配布事業	2億1,225万円
	新型コロナウイルス経済対策割増商品券事業	7,040万円
	新型コロナウイルス対策事業(観光費)	2,848万円
土木費	事業継続支援給付金給付事業	1,640万円
	スマートインターチェンジ整備事業	2億1,078万円
	橋梁長寿命化対策事業	1億6,530万円
消防費	中河原白石沖線街路事業	1億3,411万円
	消防団等運営事業	7,303万円
教育費	公園施設長寿命化対策支援事業(益岡公園テニスコートの改修)	5,578万円
	グラウンドゴルフ場整備事業	3,287万円
	外国語・国際理解教育推進事業	2,718万円
復旧費	不登校特例校開校準備事業	1,224万円
	公共土木施設災害復旧事業	4億1,721万円
	社会教育施設災害復旧事業	2億 352万円
	公立学校施設災害復旧事業	4,652万円

歳入
諸収入が約9・4億円の増加
歳入は、市税、施設利用の際の使用料、住民票や各種証明書発行の際の手数料など、市が自主的に収入する自主財源と補助金や地方交付税など、国や県から配分を受ける依存財源に大別できます。自主財源は、約16・4億円増加しました。諸収入が白石市外二町組合の解散に関連し大きく増加したほか、繰入金、繰越金、市税が増加したためです。依存財源は、新型コロナウイルス対策に関連し、国庫支出金や県支出金が減少したほか、市債、地方交付税なども減少したため、約12・3億円減少しました。

歳出
衛生費が約7・2億円の増加
目的別の主な増減では、白石市外二町組合に対する負担金や補助金等が増加したことにより衛生費が大幅に増加したほか、福岡中学校改修事業の実施により教育費が、スマートインターチェンジ整備事業や市道改良整備事業により土木費が、令和4年3月の福島県沖を震源とする地震などの災害復旧事業により災害復旧費が増加しました。一方、新型コロナウイルス対策の各種給付金や補助金の減少により民生費や商工費が減少したほか、ホワイトキューブZEB化推進改修事業の完了により総務費が減少しました。

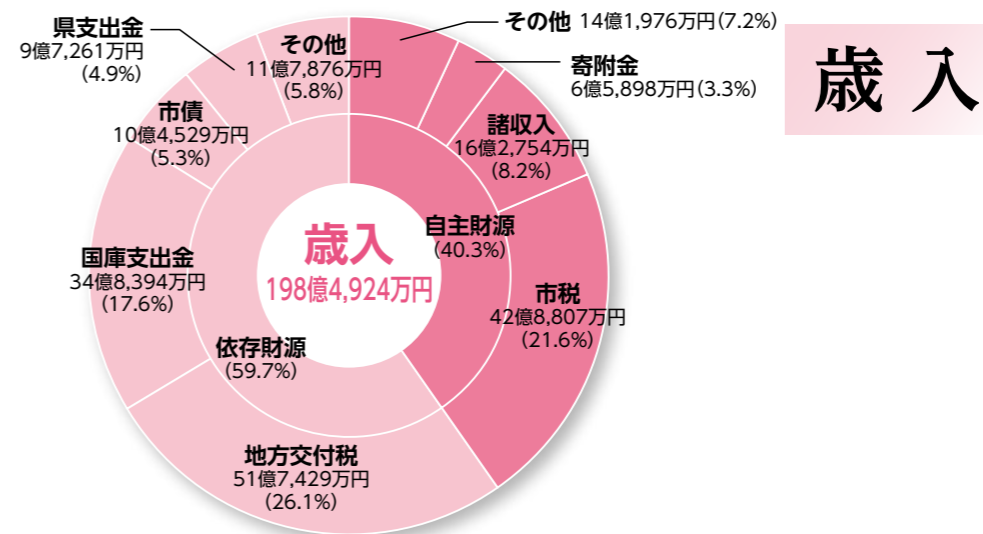
○白石市外二町組合一般会計決算

歳入 決算額	283万円
歳出 決算額	247万円
実質収支	36万円

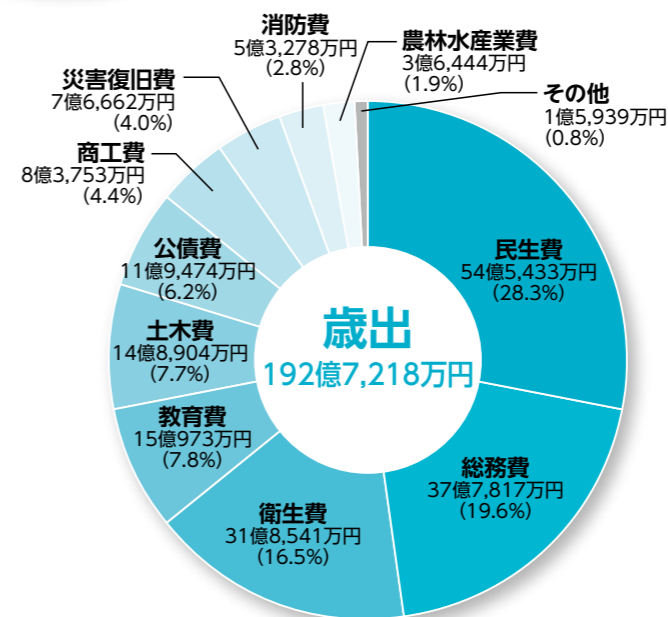
○白石市外二町組合病院事業会計決算

収益的収支	収入	33億8,482万円
	支出	39億 753万円
資本的収支	収入	12億2,215万円
	支出	12億5,170万円

令和4年度白石市外二町組合決算について
令和4年度の白石市外二町組合(公立刈田総合病院)の一般会計・病院事業会計の決算について、9月市議会定例会に議案を提出し、どちらも認定されました。白石市外二町組合の一般会計は、議会や監査委員に関連する経費を計上し、病院事業会計は、病院運営に関する経費を計上しています。一般会計・病院事業会計の歳入歳出決算額は左表のとおりです。



歳出



■一般会計決算

項目	令和4年度	令和3年度	前年度比較	
歳入(収入)	198億4,924万円	194億4,186万円	4億 738万円	2.1%
歳出(支出)	192億7,218万円	185億2,467万円	7億4,751万円	4.0%
形式収支(差引額)	5億7,706万円	9億1,719万円	△3億4,013万円	△37.1%
翌年度繰越財源	1億7,762万円	2億8,145万円	△1億 863万円	△36.9%
実質収支	3億9,944万円	6億3,574万円	△2億3,630万円	△37.2%

■全会計決算

会計名	歳入(収入)	歳出(支出)	収支差引額	
一般会計	198億4,924万円	192億7,218万円	5億7,706万円	
特別会計	国民健康保険	37億2,409万円	36億7,051万円	5,358万円
	介護保険	41億 772万円	38億2,399万円	2億8,373万円
	後期高齢者医療	4億8,489万円	4億5,650万円	2,839万円
合計	281億6,594万円	272億2,318万円	9億4,276万円	

※端数処理の関係で合計が一致しない場合があります。

決算

令和4年度一般会計・特別会計・企業会計の決算は、9月市議会定例会に議案を提出し、全会計とも認定されました。一般会計の歳入総額は、198億4,924万円(前年度比2・1%増)で、歳出総額は、192億7,218万円(同4・0%増)となり、3特別会計を合わせた歳入総額は、281億6,594万円(同2・0%増)で、歳出総額は272億2,318万円(同3・1%増)となりました。また、一般会計決算の歳入総額から歳出総額を差し引いた額は5億7,706万円(同37・1%減)で、このうち翌年度へ繰り越した事業に必要なお金1億7,762万円を差し引いた実質的な収支額は、3億9,944万円(同37・1%減)となりました。ここで一般会計決算を中心に、令和4年度決算の概要をお知らせします。なお、公営企業会計(水道、下水道事業)の決算は8・9ページに掲載しています。